



213

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年6月2日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



絵本作家・ヨシタケシンスケさんの仕事術

2日(日)=1、3面



今週は恒例の「池上彰のこれ聞いていいですか?」を掲載します。対談のお相手は「りんごかもしれない」などのヒットで知られる絵本作家、ヨシタケシンスケさん。ヨシタケさんは本来イラストレーター。「お題がないと描けない」タイプで絵本を描くときは困ったそうです。そこで役立ったのが「実物を見ずに描く」という手法。「デッサンが下手だったので実物を模した絵ではない」とすれば、批判されないと気づいたといいます。話は大人と子どもの関係にも及び、「大人はなぜ子どもに『将来の夢は?』

と迫るのか」と問いかけます。ご自身は具体的な将来の夢がなく、答えるのがつらかったそう。「そもそも十数年しか生きていないのだから夢なんてなくて問題ないんじゃないか。『夢なんかなくたっていい、どうにかなる』と語りかけるのが僕の仕事」とヨシタケさん。池上さんもNHKで「週刊こどもニュース」という番組を11年間担当し、「子どもだましはしない」と決めていたそうです。だまそうと思っても子どもは何か違うぞ、と敏感にかぎわけるといいます。2人の対談にご期待ください。



まちの本屋 どう守る 2日(日)=総合面

街の書店の減少が止まりません。全国の自治体のうち4分の1以上が、書店が1店舗もない「書店ゼロ」に陥っています。こうした状況から、経済産業省が3月、プロジェクトチームを設置し、街の書店の振興に乗り出しました。なぜ書店の数は減っていて、これからどのように守っていけばよいのでしょうか。データや、書店を盛り上げる取り組みを紹介しながら考えます。



論点 裏金問題 法律の限界は

自民党派閥の政治資金パーティールームをめぐる裏金問題。政治資金規正法に違反すると、安倍派の国会議員3人と派閥の会計責任者らが立件されました。80人以上の議員が収支報告書

への不記載や誤記載をしたとされる中、処罰の対象者は限られたようにも映ります。法律や捜査に限界があるのか、有権者のできることは。法律の専門家や学者たちに考えを聞きました。

5日(水)オピニオン面

特集 **ガイド** 創刊45周年 月刊誌「ムー」

5日(水)=夕刊2面

月刊誌「ムー」は、未確認飛行物体(UFO)や謎の文明、都市伝説を特集として取り上げることで「国民的オカルト雑誌」とも呼ばれています。このところ、各地のミステリースポットを活用した町おこしに力を入れています。また、「地球の歩き方」とコラボしたガイドブックも売れているそうです。今年10月に創刊45周年を迎える「ムー」の編集部を訪ね、三上文晴編集長に話を聞きました。



竹橋の窓びかり

編集後記

毎日新聞の「生活の窓口」は資生堂と6月30日、「大人のためのパーソナルビューティー講座」を東京・竹橋で開催します。50代以上を対象としたこの講座は3月に続いて2度目。資生堂スタッフが「スキんケア」「メーカーアップ」「パーソナルカラー診断」などを教えます。高齢の方が微笑みながら帰路につく姿がとても印象的な講座です。ぜひ、受講してみてください。(小林知史)



毎日新聞